

事務事業	15051	子どもの運動能力向上講習会開催事業	担当課 課長	社会教育課 前田憲一郎	担当係 担当者	社会体育係 百田英憲
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	250 子どもの健全育成を推進する		款	10	教育費
				項	6	保健体育費
				目	2	体育振興費
基本事業						
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H22 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる) 事業参加者傷害保険料 10 千円 千円 千円 千円
子どもの体力運動能力の向上を目的として22年度から開始した事業で、講師を招いて4つの小学校区毎に講習会を行った。広報・ホームページ・チラシの配布などで、町内のジュニアスポーツ団体に所属する子ども・保護者・指導者や、子ども会、学童保育所等に広報を行い、講習会を実施した。	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	
講習会開催準備、当日の進行・講師補助、講師謝礼金支払	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 講習会の開催 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町内の小学生、町内のジュニア団体、保護者・指導者 ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) ・子どもの運動能力の向上 ・ジュニアの指導に役立てる	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
			ア 講習会回数	回	4	1	1 (見込)
			イ				(見込)
			ウ				(見込)
			⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値			
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア 町内児童数	人	3,067	3,080	3,149 (見込)	
		イ 町内ジュニア団体数	団体	29	29	29 (見込)	
		ウ				(見込)	
		⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値				
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア 講習会参加者数	人	目標	140	100	100
				実績	91	76	
		イ		目標			
				実績			
		ウ		目標			
				実績			
		エ		目標			
				実績			
		オ		目標			
				実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	51	91	10	91		
		合計(A)	51	91	10	91	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	474	737	621	904		
	トータルコスト(A)+(B)	525	828	631	995	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？(誰からの意見か明記)
子どもの運動能力の低下が見られる中で、子どもの体力向上に向けた取り組みが必要であり、平成22年度に事業を開始した。	特になし	参加者から、次回も参加したいとの声がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	引き続き積極的に広報を行い、こどもの体力向上のきっかけとなるよう事業を継続する。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	子どもの体力低下は社会的な問題であり、体力向上のきっかけとなる事業を開催することは、子どもの健やかな成長に貢献できると考えられる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子どもの体力向上のきっかけとなる事業を開催すること等の体制を整えることは、町の役割である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	今後も実施のPRを行い、より多くの方が参加することで、より成果を向上することができる。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	日ごろ運動をしていない子どもたちの、運動能力が向上するきっかけが少なくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか？(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	予算は傷害保険料、講師謝礼など最小限のものである。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

広報誌やホームページ、また、育成会やジュニア団体への案内、学校からの呼びかけ等を行った。今後も実施のPRを行い継続して実施したい。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果 引き続き積極的に広報を行い、こどもの体力向上のきっかけとなるよう事業を継続する。
---	--